

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上伊那地域若者人材確保促進事業
事業主体 (連絡先)	郷土愛プロジェクト (伊那市荒井 3500 番地 上伊那広域連合内)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,093,030 円 (うち支援金 : 843,000 円)

事業内容

上伊那地域に就職したい若者と、上伊那地域で採用意欲のある元気な企業との接点づくりをすることで若者の上伊那地域定着を促進し、定住人口の増加並びに地域産業の競争力の強化と地域経済の振興に努めていくため、就職活動着手前の学生を対象とした「就活準備合宿」を開催しました。

学生自身が自らの軸やありたい姿を見出すこと、上伊那地域の産業構造を知ること、コミュニケーション能力を高めること、企業の採用担当者と直接交流することなどから、学生が地元で働くイメージを高め、地元就活を選択肢と捉える機会にしました。



【学生と企業の交流】

【目標・ねらい】

- ①学生が就活を通じて、幸せな人生を送るための選択ができること。
- ②幸せな人生を送る選択肢が生まれ育ったふるさとにもあることを学生が認知すること。
- ③上伊那地域の企業が、学生の動向を早い時期に把握できること。
- ④Uターン就職の機運が地域に広がっていること。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

就活準備合宿は開催4回目を迎え、就職活動解禁に向けたきっかけとして、参加した学生や企業担当者から一定の評価が得られています。また、初の開催となる「かみいなシゴトフェス in Tokyo」(令和元年10月19日開催)や帰省学生が多く集まりやすい時期に開催する「かみいなシゴトフェス」(令和元年12月28日開催)、「上伊那地区企業説明会」(令和2年3月5日:中止)に繋げるきっかけにも位置付けています。

平成29年度の当合宿参加者の進路調査によると、参加者の半数以上が上伊那地域での就職を予定するなど、一定の効果が見込める事業になっています。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

就活準備合宿については、継続開催することで、広く地域にもその取り組みを意識づけることが大切だと考えます。また、首都圏等で新卒就職3~7年後のいわゆる第二新卒を対象とした主にUターン就職の支援に着手していきます。(「かみいなシゴトフェス in Tokyo」)

就活準備合宿開催を契機に、行政と企業との意思疎通が促進されていて、人口減少対策としての地域課題と、企業の人材確保を両立する取組みに繋がります。

※自己評価【A】

【理由】

就活準備合宿を契機に、学生の地元意識の向上や、企業の採用活動の変化を引き出している。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある